

事務事業名		障害者の日常生活支援事業		会計		一般会計		実施区分			
H28担当課等名		福祉課		H28係等名		障害福祉係		H27係等名		障害福祉係	
基本計画上の位置づけ		政策		3		健やかに安心して暮らせるまちづくり		事業種別		政策	
		施策		34		障害者福祉の推進		開始		S44 終了	
目的	対象(誰・何を)	1 自宅に自家用車がない、運転できないなど外出の手段の少ない障がい者 2 障がいがあるため、自宅の浴室やトイレ、台所などが使いにくいと感じている障がい者		対象指標	指標名及び単位		27年度数値				
	意図(どういう状態にするか)	1 タクシー利用券を利用して外出し、社会参加の機会を増やす 2 在宅での、日常生活の不便を解消する			在宅の重度障がい児者数(人)		1916				
	向上させたい上位施策の成果指標	安心して地域で日常生活が送れている割合			住宅改修を希望する障がい者数(人)		1				
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)			
	成果指標	助成を受けた人数/在宅の重度障害児者数 (%)		87	82	60	82				
	成果指標	住宅改修事業を利用した障害者数/住宅改修を希望する障害者数 (%)		100	100	100	100				
定性目標											
事業概要	1 障がい者タクシー利用料金助成事業(飯伊圏域で利用したタクシーの乗車料金の一部を助成(年間500円券35枚交付)) 2 重度心身障がい児通院費助成事業(飯伊圏域外の医療機関への入院時に要する交通費等の一部を助成) 3 人工透析患者等通院交通費助成事業(要件(距離・所得)に該当する者へ通院交通費を助成) 4 障がい者にやさしい住宅改修事業(浴室、トイレ等を障がい者が使いやすいように改修に要する経費を助成) 5 障がい者余暇活動支援事業(障害者の余暇活動等を実施する社会福祉法人等に補助金を交付) 6 軽度・中等度難聴児補聴器購入助成(補聴器購入又は交換に要する経費を助成) 7 障がい児通園施設利用児療育支援(多子保育世帯の負担軽減) 8 補助犬健康管理支援事業(盲導犬、聴導犬の予防接種等への助成) 9 タイムケア事業(介護者レスパイト) 10 車いす利用者入浴支援(ほっ湯アップルのリフト付き浴室の利用料を補助) 11 障がい児者施設訪問看護サービス事業(医療的ケアが必要な障害児に対して行う施設訪問看護サービスに要する経費を助成)										
	事業内容				名称				活動指標		
	27年度事業内容	1 飯田市障がい者タクシー利用券の給付	1 給付実人数	1	1,074人						
		2 重度心身障がい児通院費助成	2 給付実人数	2	8人						
		3 人工透析患者等通院交通助成	3 給付実人数	3	56人						
		4 障がい者のための、自宅改修の相談と補助金の交付	4 給付実人数	4	1人						
		5 障がい者余暇活動支援・重度障がい者外出支援	5 余暇活動を実施した法人数	5	3法人						
		6 軽度・中等度難聴児補聴器購入助成	6 給付実人数	6	3人						
		7 障がい児通園施設利用児療育支援	7 給付実人数	7	3人						
		8 補助犬健康管理支援事業【新】	8 給付実人数	8	2人						
		9 タイムケア事業	9 給付実人数	9	231人						
		10 車いす利用者入浴事業	10 延利用者数	10	116人						
11 障がい児者施設訪問看護サービス事業		11 障がい児支援事業所数	11	1カ所							
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		21,805	32,433	30,503	34,278	(県)地域福祉総合助成金(1/2)					
国庫支出金											
県支出金		2,296	6,346	6,379	8,444						
起債											
その他		598									
一般財源		18,911	26,087	24,124	25,834						
人件費計(千円)②		8,084		6,654							
正規職員所要時間		1,900		1,500							
臨時職員所要時間		1,200		1,200							
総事業費①+②		29,889	32,433	37,157	34,278						
事業内容・目標達成状況の振り返り		・障がい者の社会参加や経済的負担の軽減を図ることができた。 ・補助犬の貸与を受けて日常生活を送る障がい者にとって、補助犬の健康保持は重要であるため、平成27年度から新規事業として「補助犬健康管理支援事業」を実施。									
改革改善の考え方	①問題点	障がい者施策の扶助費増加に伴い、市単事業の見直しが必要。									
	②改革提案	市単事業の見直し。平成28年度からタクシー利用券の枚数を35枚から30枚に変更。									